

毛利清一の世界

映画とテレビドラマを彩る刺青展

2024年
5月1日(水)
7月28日(日)

10:30~17:00 休館:月曜・火曜
第1期:5月1日(水)~6月16日(日)
第2期:6月19日(水)~7月28日(日)



会場・おもちゃ映画ミュージアム

入場料・1000円(十八歳以上、お支払いは現金のみ)。十八歳未満の方のご入場はご遠慮ください。

「極道戦争 武闘派」(1991年)
火野正平に描いた
「張順 水門破り」

京都在住、現在九十四歳の毛利清二氏は、東映京都撮影所にて俳優・刺青絵師として四〇年以上活動してきた。手がけた東映・NET作品は「昭和残侠传」(4作目以降)、「緋牡丹博徒」、「仁義なき戦い」、「遠山の金さん」シリーズほか多数。毛利氏が独自に編み出した技術と特殊な絵の具によって、高倉健や鶴田浩二、藤純子、高橋英樹、松方弘樹、松平健、高島礼子などのスター150名以上、のべ2000名以上の俳優に刺青を描いてきた。

本展では東映太秦映画村・映画図書館協力のもと、毛利氏による刺青下絵、東映株式会社、東映太秦映画村、山本芳美ほかが所蔵する写真、脚本、ポスターなどを映像も交えて、二期にわけて展示する。これらは、一九六〇年代から二〇〇〇年代にかけての時代を象徴する映画・テレビ時代劇ならびに映画産業の一級資料であり、毛利氏の活動を俯瞰する貴重な企画展となる。

展示会場
おもちゃ映画ミュージアム
月曜・火曜休館。10:30~17:00
〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町29-1

お問い合わせ
MAIL: info@toyfilm-museum.jp
TEL: 075(803)0033

入場料
1000円
(18歳以上、お支払いは現金のみ)
18歳未満の方のご入場はご遠慮ください。

アクセス
嵐電「四条大宮駅」、
阪急京都線「大宮駅」、
JR・市営地下鉄「二条駅」より
徒歩7分~8分。



『新仁義なき戦い/謀殺』(2003年)
渡辺謙に描いた「不動明王」



『必殺4恨みはらします』(1987年)
岸田今日子に描いた「弁財天」



『昭和残侠传 人斬り唐獅子』(1969年)
高倉健に描いた「唐獅子牡丹」



『陽炎2』(1996年)
高島礼子に描いた「観音菩薩」



『博徒対テキ屋』(1964年)
鶴田浩二に描いた「め組の喧嘩」

第1期:5月1日(水)~6月16日(日)
60年代、70年代の映画
第2期:6月19日(水)~7月28日(日)
80年代以降の映画
通期:テレビドラマ作品

2024年4月27日(土)14:30~16:30
「東映刺青映画の歴史」

講演:山口記弘(東映株式会社経営戦略部フェロー)
会場:京都市男女共同参画センター
ウイングス京都 セミナー室A・B
入場料:事前予約500円、当日700円

お申込み先QR:

2024年5月1日(水)16:00~17:00

「展示会の見どころ
毛利清二と作品の魅力」
ご案内:山本芳美(都留文科大学教授)

2024年6月16日(日)14:00~15:00

「毛利清二ギャラリートーク」

2024年7月28日(日)14:00~15:00

「クロージングイベント」

会場:おもちゃ映画ミュージアム
(当日、入場料をお支払いになってご参加ください)

主催 「毛利清二の世界:映画とテレビドラマを彩る刺青展」
(略称「毛利清二の世界展」)実行委員会

協力・協賛(順不同)
毛利清二
東映株式会社
東映太秦映画村・映画図書館
京都大学映画・メディア合同研究室「京都大学映画コロキウム」
「身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現」(学振・学術知創プロジェクト)
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究人類学班
都留文科大学
化粧文化研究者ネットワーク
タトゥー文化研究会
青土社

本展示はJSPS 科研費20H01411による成果です。

科研費
KAKENHI



TSURU University